

事業所名		ハッピーテラス尾久教室					公表日	令和8年 1月 14日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・お子様の人数が多い時には、遊びのルールを決めたり時には制限を掛ける等して、安全を確保しております。					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・休日やイベントなどお子様の人数の多い日に職員数を増やすなど、配置の工夫をしています。	・もう少し常勤職員が多い方が良くと考え、今後増員を予定しております。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・おもちゃや工作の材料などをコーナーで分けることで、お子様に遊びやすい空間作りに努めております。					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・定期的に掃除や整理整頓を随時行うことで、お子様にとって安心安全に過ごしやすい空間作りに努めています。	・今後も引き続き、定期的に設備点検を行っていく中で、不備のあった物や経年劣化した物などを交換していく予定です。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個室の相談室を設けており、お子様のニーズに応じて(落ち着かない、体調が悪いなど)使用できるよう、常に整理しています。					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○		・定期的に意見交換をする場を設け、常勤・非常勤関係なく広く意見を吸い上げられるような体制作りに努めて参ります。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎年1度アンケートに答えていただき、その内容を職員間で共有し、支援内容の見直しや振り返りを行っています。					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎日支援前後にミーティングを行う中で職員の意見を聞く機会を設け、なかなか参加できない非常勤職員に対しても随時意見を聞く機会を設けるようにしています。					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・定期的に実地検査を受け、そこで指摘を受けた項目については随時改善していき、現在も継続して改善するよう努めております。					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		・職員配置などの関係で、研修になかなか参加できていない状況が続いております。今後は、職員の増員を行うことで参加機会を増やしていければと考えています。				
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・基準通りに作成し、公表しております。					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・計画作成時には、必ず現状を把握すべくアセスメントを行ってから素案作成に着手するよう徹底しています。					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・計画作成については、各担当職員が素案を作成しそれを全職員で確認、検討しながら本案を作り上げていくようにしています。					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・全職員が計画を確認した上で支援に当たっています。	・各職員のスキルや経験などにより理解の差が生じないよう、今後はなるべくすり合わせのできる機会を作っていきたいと考えています。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		・現在は使用できていませんが、今後は新規でご利用のお子様から使用できるよう検討しております。				

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・ガイドラインに沿った計画立案ができるよう、新しい計画の作成時には職員間で情報共有を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・季節や時世を考えたり、常に新しい活動を模索したりしながら作成することで、プログラムが固定化しないようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・お子様の状態を踏まえて、個別に支援が必要なところと集団の中でこそ育まれることなどを見極めながら計画に反映し、支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・支援前にミーティングを行い、トレーニングやイベントの内容や個別の対応について共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援後にミーティングを行い、なるべくお子様一人一人の様子を細かく報告し合うようにしています。	・細やかな様子の把握はできていますが、具体的な支援方法を考えていくまで繋がりがずらいので、今後はそういった話し合いができるよう努めて参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・毎日個別の支援記録を入力しています。不在職員は出勤日にはその記録を確認することを徹底し、支援の検証や改善に繋がっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・事業所内だけでなく、相談支援事業所の方との話を踏まえながら、モニタリングを実施し、計画に反映させています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・トレーニングやイベントは、「4つの基本活動」を意識しながら、職員間で意見を出し合いながら内容を考えています。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・トレーニングやイベント以外の日常生活においても、選択肢を提示したりしながら、自身で選ぶ機会をなるべく多く設けることで、自立を促しています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			・体制上の問題でなかなか参加できていませんが、今後は都合をつけてなるべく参加できるようにしていきたいと思っています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・相談支援事業所の方とは連絡を取り合い、随時担当の方がお子様の様子を見に来てくださいます。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			・学校との連携は、なかなか連絡が難しいのが状況で現在は行えていませんが、今後は支援の繋がりを重視して、なるべく連絡を取り情報共有できる体制作りを進めていきたいと思っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			・就学前に利用の施設との連携は、なかなか連絡が難しいのが状況で現在は行えていませんが、今後は支援の繋がりを重視して、なるべく連絡を取り情報共有できる体制作りを進めていきたいと思っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			・最近では該当のお子様がいらっしゃらないので行えていませんが、今後該当のお様がいらっしゃった場合には、支援の繋がりを重視して、なるべく連絡を取り情報共有できる体制作りを進めていきたいと思っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			・現状では、なかなか研修や助言を受ける機会が持てていないので、今後はそういった機会が持てるよう様々な情報を積極的に取り入れていきたいと思っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・月に1度、近隣のふれあい館の栽培体験に参加させてもらっています。	・今後は、より幅を広げていけるよう地域の情報収集に努め、繋がりを持てるようこちらから働きかけていきたいと思っています。

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		○		・業務時間と合わず、参加を見合わせているが、今後は参加ができるよう時間を調整していきたいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時にお子様のご様子について情報共有をさせていただいております。また、その他では電話連絡や個別の面談を実施することで共通理解を持つ場とさせていただいております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		・現在ご要望が無いため行っておりませんが、今後は情報提供を中心に独自の家族支援の方向性を探っていきたく考えています。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時はもちろんのこと、改定があった場合にもお知らせをさせていただいております。また、ご質問があればその都度説明させていただきます。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・計画作成時毎に本人、ご家族のニーズは確認するようにしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・書面のみでの確認になってしまう場合もありますが、毎回必ず書面を提示して同意を得るようにしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・主に送迎時、時間があれば面談室で、ご相談をいただければその都度お話しさせていただいています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		・現在はご要望の声をお聞きできていないので実施できてはませんが、今後ご要望の声が多くなり次第検討させていただきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・対応窓口を設置し、受け付けた苦情に対しては迅速に対応するよう努めております。また、いただいた苦情に対しては、職員間で共有し、今後の事業運営に活かしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		・様々な事情によりSNSの運用は控えておりますが、今後は通信の発行頻度を増やしたりHPの変更をしたりすることで、情報の発信を積極的に行って参りたいと思います。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・書庫の施錠や書類の管理など、基本的な対策は講じています。不備があった場合も迅速に職員間で解決作を話し合い、是正に努めております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・実物の提示やジェスチャーなど、お子様個人個人に合わせた意思疎通や情報伝達の方法を実施しています。	
非 常 時 等 の 対 応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・現状では労力やリスクを鑑みて実施できていませんが、今後は地域と繋がることの必要性を検討しながら、実施できるよう内容を考えていきたいと思います。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルは定期的に更新し、いつでも閲覧していただけるよう、提示させていただいております。また、ご質問などにも都度対応させていただいております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・基準通りに作成し、かつ定められた時期に研修、訓練を行っております。また、不参加の職員に対しても報告書などを通じて周知をしております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時に確認させていただき、その後は計画の見直し時期など適宜機会を見つけてお伺いしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		・現在は当該事象がないため行っていないですが、今後対応が出てくることを想定して、引き続き事前の取り組みを進めてまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・基準通りに作成し、かつ定められた時期に研修、訓練を行っております。また、その内容を支援に活かせるよう職員間での意見交換の場を設けるようにしています。	

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・安全計画については、常時掲示をしたり、契約や面談の際に説明をさせていただくようにしております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・起きた事象についてはミーティングなどで確認、その場で対応を検討し、ヒヤリハットとして報告書を作成、共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・毎年1度アンケートを実施し、また定期的に定められた研修を行うことで、支援全体の見直しや振り返りを行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○		・現在は当該事象がないため行っていませんが、今後対応が出てくることを想定して、引き続き事前の取り組みを進めてまいります。